



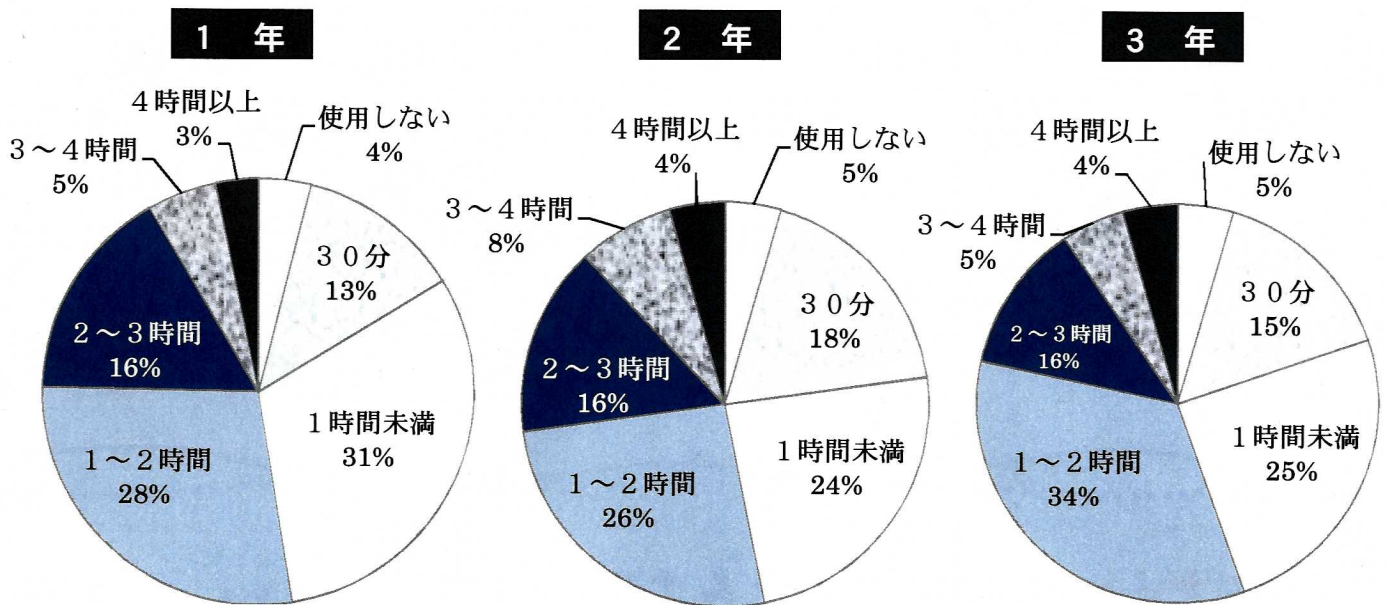
保健だより

笠商保健室
6月号



笠商生の1日の携帯電話の使用状況

4月実施



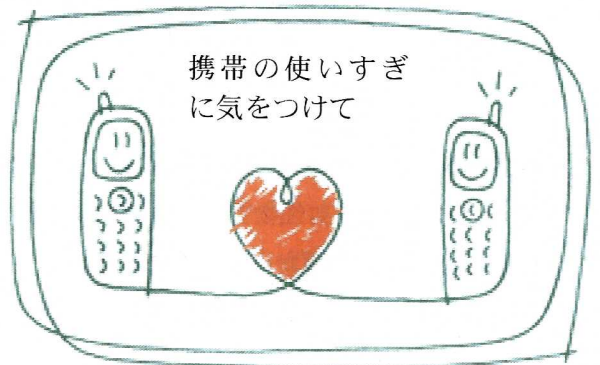
携帯電話の使用で脳腫瘍リスクが増大 (WHO発表5/31)

1日30分以上、10年以上の使用で発がんのリスクが高まります！

世界保健機関 (WHO) は31日、携帯電話の電磁波はがん発症の原因になる可能性があるとの見解を発表しました。発がんの危険の一覧表には、鉛、エンジンの排気ガス、クロロホルムなどと並び、携帯電話の利用を掲載しました。

WHOはこれまで、携帯電話が健康に及ぼす悪影響は確認されていないとの立場を取ってきましたが、米国など14カ国の科学者31人が、携帯電話の安全性に関するこれまでの研究結果を検証した結果、

脳実質あるいは脊髄実質から発生する「神経膠腫」や「神経腫」といった脳におけるがんを引き起こす可能性がある証拠を発見したとのことです。



携帯電話の電磁波はX線のようなものではなく、非常に低い出力の電子レンジのようなものであるとされており、言うなれば「食べ物の代わりに脳を電子レンジに入れるようなもの」とであるとロサンゼルス Cedars-Sinai M Cr の代表で、神経学を専攻する Keith Black 博士はコメントしています。

外国では、携帯電話メーカーが、端末を体から離して使うよう助言しているところは多いそうです。

笠商生！ ひまわりでパワーアップだ！！



6月6日、厚生委員会・保健委員会・VYSの生徒によってひまわりが植えられる予定です。

そして、8月の笠商の校庭は、100本以上の元気印のひまわりに囲まれながらの高校生活を送ることになります。

体育祭、文化祭、進路に向けて、ひまわりパワーをぜひ実感してください。

大震災で被災した東北にも、笠岡のシンボルのヒマワリが大輪の花をさかせ、被災した皆さんの心を元気づけてくれたらいいですね。

ひまわりの花言葉

「いつもあなたを見てい

ます！



ひまわり といえばこんな話題も……

土壤の放射性物質除去へ ひまわりの実験開始

5月28日のNHKのニュースより

東京電力福島第一原子力発電所の事故で、周辺の農地から検出されている放射性物質を取り除く方法を検討するため、農林水産省は、土壤から放射性物質を吸収する性質が報告されているヒマワリなどの試験栽培を福島県の農地で始めました。

鹿野農林水産大臣は「放射性物質に汚染された農地を、もう一度、農業を営むことができるようにしたい。実験で効果が確かめられれば直ちに導入していきたい」と述べました。

また、鹿野大臣は記者団に対して「研究で成果が上がった方法を実行に移すために必要な予算は、第2次補正予算や来年度予算の概算要求に盛り込めるよう、あらゆる努力をしていきたい」と述べました。



ひまわりの 不思議な力

今、ヒマワリの驚異的な能力が注目されています。

ある実験結果によると (放射線物質の水溶液での水栽培)

ひまわりには放射線物質であるセシウムやストロンチウムを吸収する力があり、半減期が30年もかかるセシウムをわずか20日間で95%も吸収した。

ここに、農林水産省が注目し、ひまわりの試験栽培を試みるようになったようですが……

まだまだ、ヒマワリにはクリアしなければならないことあるようです。

- 問題1、果たして汚染された土壤で同じような能力をひまわりが発揮できるか
- 問題2、放射線物質を溜めこんだひまわりをどのように処理するのか
- 問題3、誰が種まきから刈り取りまでの危険な作業をするのか